

校長指標【暫定版(案)】

区分※1	
学校経営ビジョンの構築・実現	国や県・市町の教育改革の動向や行政施策等を踏まえ、幼児児童生徒や学校や地域等の実態を的確に把握して、学校の課題を明示することができる。
	学校の実態や課題を踏まえて、特色ある学校経営ビジョンを構築し、その実現に向けた手段や方法を示すことができる。
	学校の自己評価と学校関係者評価等により、保護者や地域社会等に説明責任を果たすとともに、学校の改善につなげることができる。
カリキュラム・マネジメント	広島版「学びの変革」※2アクション・プランを踏まえ、新しい時代に必要となる資質・能力を身に付けさせるために必要な教育の内容等を、各教職員の果たすべき役割を明確にし相互に連携させながら、教科横断的な視点で組み立て、推進することができる。
	教育課程の実施に必要な体制を整備するとともに、学校全体で教育課程の実施状況を評価しその改善を図っていくことを通して、組織的、計画的に教育活動の質の向上を図ることができる。
人材育成	「学びの変革」の推進を通して、文化や価値観の違いを認識し、様々な人材と協働して、失敗を恐れず果敢に挑戦し続け、新たな価値を創造する人材を育成することができる。
	教職員の人事評価を適切に行うことにより、教職員の意欲や資質の向上、使命感の高揚、能力開発を図ることができる。
	国や県・市町が実施する研修の目的・内容等を把握し、教職員個々の能力・適性等に応じた研修を受講させることにより、教職員の学び続ける意欲を高めるための働きかけを行うことができる。
組織・環境づくり	教職員の能力・適性や職務遂行状況等を把握し、適切な校務分掌の仕組みを整えることができる。
	教職員一人一人が持っている力を最大限に発揮し、自由闊達な雰囲気の中で生き生きと教育活動に取り組むことのできる環境を整えることができる。
	学校における「働き方改革」推進の視点から校務を捉え、改革の推進に向けた具体的な取組を実施することができる。
保護者・地域・関係機関等との協働	保護者や地域、関係機関等との良好な関係を維持し、相互に情報交換等を行うことができる。
	保護者や地域、関係機関等に、学校の立場や方針、根拠等を分かりやすく伝え、学校経営目標に沿った方向に導くことができる。
	「地域とともにある学校づくり」を推進するため、学校と地域が連携・協働する体制を構築し、保護者や地域の力を学校運営に生かすことができる。
危機管理	法令等を遵守するとともに、教職員の服務管理を適切に行い、規律を確保することができる。
	幼児児童生徒の安全を確保するために、生徒指導体制の整備や学校安全に関する教育を推進している。
	教職員の危機管理に対する意識を高め、トラブルに対して組織的に取り組む体制を整備するとともに、未然防止のための取組を行うことができる。

※1 各区分は、相互に結び付いている。

※2 「学びの変革」…広島県教育委員会では、県内すべての幼児児童生徒に対し、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指した「主体的な学び」を促す教育活動を推進するため、「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基いた取組を進めている。